

令和4年度

事業報告書及び決算報告書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

公益財団法人千歳青少年教育財団

目 次

令和4年度事業報告書	1
I 公益目的事業	2
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	5
3 教育機関支援事業	6
◇ 水族館管理運営事業	7
1 水族館管理運営事業	7
2 年間パスポート会員の加入促進	16
3 情報提供活動	17
II 役員に関する事項	19
III 職員に関する事項	20
IV 理事会・評議員会の開催状況	21
1 理事会	21
2 評議員会	22
令和4年度決算報告書	23
I 貸借対照表	25
II 正味財産増減計算書	26
III 財務諸表に対する注記	30
IV 財産目録	35
V 収支計算書	38
VI 収支計算書に対する注記	53

令和4年度監査報告書

参考資料

令和4年度事業報告書

令和4年度において、公益財団法人千歳青少年教育財団は、千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与することを目的に、青少年の健全育成を図るため必要な教育事業を行うとともに、水族館管理運営事業を計画に基づき実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、感染防止対策に努めながら、事業の推進に取り組んできました。

以下、各事業の概要について報告します。

『教育事業』については、千歳水族館学習事業の「サーモン・ツアー」では、感染対策のため宿泊ではなく1日行事として、自作の偏光メガネによる千歳川観察会や展示水槽へのサケの搬入体験、サケの解剖実習などを実施し、「サケふるセミナー」では、サケの採卵や水生生物の飼育に関する体験プログラムを実施しました。

ジュニア・リーダー及びシニア・リーダー活動事業では、子ども会活動の中心的な役割を果たすジュニア・リーダー講習会やシニア・リーダー研修会のほか、各リーダー交流会などを実施しました。

また、集団生活を通じて子どもたちが団体生活の規律や自立を身につけることを目的とした夏休み自然体験教室や冬休み体験教室のほか、千歳の歴史や市内の特産物を学ぶことを目的としたキウス周堤墓群見学&ハスカップ収穫体験などの体験学習を実施しました。

社会教育関連事業では、千歳市子ども会育成連合会との共催事業として「緑の村キャンプ大会」を感染対策のためデイキャンプとし、「ちとせの子どもクリスマスの集い」と「ちとせっ子雪あそび」も感染対策を取りながら実施しました。

教育機関支援事業では、総合的な学習などに対応したサケ稚魚放流体験をはじめとした多様な学習活動への協力や学芸員の講師派遣などとともに、職業体験やインターンシップ、博物館学芸員実習の受入れを実施しました。

次に、『水族館管理運営事業』については、常設展示では、サケ科魚類を中心とした水槽展示や千歳川護岸利用の水中観察ゾーン、タッチプールなどの体験コーナーなど、企画展示では北海道で身近に見られる外来種をテーマとした夏季企画展のほか、多くの展示を実施しました。また、季節展示としてサケ属2種の回帰親魚の展示やグラスツリーによる発眼卵の展示を実施しました。

体験学習及びイベントでは、バックヤードツアーやサケ稚魚放流体験のほか、クリスマスやお正月など季節にちなんだ参加型のイベントを実施しました。

これらの結果、水族館の令和4年度入館者数は、千歳川への記録的なサケの遡上もあり、前年度比76.9%増の288,128人となり、目標を大きく上回ることができました。

また、年間パスポート会員の加入については、個人会員は8,016人、法人会員は120団体となり、いずれも前年度実績及び目標を大きく上回ることができました。

最後に、令和4年度の収支決算においては、公益目的事業会計及び法人会計を合わせた事業活動収支の部については、収入が283,051,040円に対して、支出が226,490,387円、投資活動収支の部については、投資活動収入0円に対して、投資活動支出が56,500,331円、財務活動収支の部については、財務活動収入0円に対して、財務活動支出が142,884円となり、合算すると収入総額は283,051,040円、支出総額は、283,133,602円となります。これにより、差引き△82,562円が当期収支差額となり、前期繰越収支差額186,572円を加えた104,010円が次期繰越収支差額となりました。

以下、事業内容及び収支決算の詳細は別紙のとおりです。

事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I 公益目的事業

◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業

ア サーモン・ツアー ～早起きはサーモンの徳～

サケに関する生態や食文化などについて、水族館に宿泊しながら体験する計画であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため宿泊を取り止め、10月8日(土)に1日行事として実施した。

小学4年生、5年生の計6名が参加し、早朝のサケ遡上見学後、自身で製作した偏光メガネを使用し水族館周辺の千歳川観察会、展示水槽へのサケの搬入体験やサケの解剖実習などにより、サケに対する興味関心を深めた。

イ サケふるセミナー

サケの採卵や水生生物の飼育に関する体験プログラムを合計7回実施し、延べ206名が参加した。実施内容は次のとおり。

6月12日(日)	ミニ水族館作り	20名
9月24日(土)	サケの採卵体験	8組28名
10月10日(月・祝)	サケの採卵体験	7組22名
10月22日(土)	サケの採卵体験	8組41名
11月6日(日)	サケの採卵体験	8組27名
11月23日(水・祝)	サケの採卵体験	8組36名
12月4日(日)	サケの採卵体験	8組32名

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、活動の中心的な役割を果たすジュニア・リーダー育成のための講習会を前期と後期に分けて各2回開催した。参加者は受講状況に合わせ初級・中級・上級に分かれ、創作活動やレクリエーションの実践などについて受講した。

前期講習会は6月26日(日)に北ガス文化ホール、8月21日(日)に千歳市千歳コミュニティセンターにて、延べ18名のシニア・リーダーを講師として開催し、計14名が参加した。

後期講習会は、1回目を12月17日(土)から18日(日)まで、3年振りに1泊2日でネイパル深川において、また2回目を2月19日(日)千歳市千歳コミュニティセンターにおいて延べ8名のシニア・リーダーを講師として開催し、計17名が参加した。

イ ジュニア・リーダー交流会

10月30日(日)に開催された千歳水族館のハロウィンイベントにおいて、講習会以外でジュニア・リーダー同士が集い交流する場として開催した。イベントを支援する4名のシニア・リーダーとともにジュニア・リーダー10名が参加。仮装してイベント当日の準備から実施までを体験し、リーダー活動について実践的に学ぶとともに、ジュニア・リーダー同士の交流を深める機会となった。

(3) シニア・リーダー「つばさ」活動事業

ア 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会（中止）

9月に当別町において、管内の子ども会やリーダーが参加する研修会が開催される予定であったが、新型コロナ感染拡大防止対策のため中止となった。

イ シニア・リーダー「つばさ」研修会

シニアのOB、OGである千子連会員2名が企画し、新型コロナウイルスの影響により行事の中止が続き、希薄となってしまったシニア同士の交流や連帯感を深めるための研修を、9月19日(月・祝)に千歳市千歳コミュニティセンターにおいて実施した。シニア・リーダー5名が参加して、レクリエーションやゲーム、企画立案などを共同で行いながら、お互いを知り連帯感を深めた。

また、3月18日(土)から19日(日)には国立日高青少年自然の家において、3年振りに宿泊をともなう研修会を実施した。シニア・リーダー15名が参加して、レクリエーションやゲーム、各種行事や事業についての企画立案や運営方法などを学び、互いに交流しながら親睦や絆を深めることができた。

ウ シニア・リーダー交流会

① 北海道内の青少年リーダーサークルとのオンライン交流

別海町で活動する青少年リーダーサークルと、オンラインによる交流会を2回実施した。1回目の5月18日(水)は7名、2回目の6月12日(日)は2名が参加して、お互いのサークルやレクリエーションゲームの方法などについてオンラインで解説、実演しながら情報交換を行い、新たな技術や知識を得るとともに交流を深めた。

② ジュニアリーダーコースin深川

9月23日(金・祝)と24日(土)の2日間、ネイパル深川において中高校生を対象として、「農業」を焦点に当て少子高齢化や人口減少といった地域課題の解決に向けた研修会が開催された。千歳から参加した中学2年生2名のシニア・リーダーと、札幌市や旭川市など4市町の参加者を合わせて計10名の中高校生が、講話やフィールドワークを通して農業への理解を深め、互いに交流しながら自分たちの住む町についても話し合った。

③ 市町村ジュニア・リーダー合同研修交流会（中止）

3月下旬にネイパル深川において、道内5市町の青少年リーダーが集まり、2泊3日でレクリエーション技術や活動内容の紹介などによる交流を実施する予定であったが、5市町で調整・検討した結果、中止となった。

エ シニア・リーダーわくわく体験教室

10月8日(土)に千歳水族館で開催したサーモン・ツアーにおいて、シニア・リーダーのメンバーが講師となり「偏光メガネ」の作り方について、参加者に指導した。日頃の活動訓練の成果を発揮して、分かりやすく楽しい説明や指導を実践し、リーダーとしての資質向上を図ることができた。

オ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダーの活動で養った経験を生かし、青少年育成に関わる支援活動を行った。千歳水族館の学習事業に関連した5事業に延べ21名、2町内会の5事業に延べ36名が参加し事業を支援した。

(4) 夏休み自然体験教室 ～水族館編～

小学校高学年から中学生までを対象とし、千歳水族館での宿泊及び周辺での野外活動や水族館内での体験教室を実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染防止のため宿泊は行わず8月3日(水)に1日行事として、支笏湖での自然体験と夜の水族館探検を実施した。

小学4年生から中学1年生までの20名とシニア・リーダー5名が参加して、支笏湖では、ふるさと村教授会の講師3名による自然観察会や遊覧船乗船、スジエビ採集、ビクターセンター見学のほか、昼食には支笏湖産ヒメマスを食べ、支笏湖の自然や生物について学んだ。水族館では閉館後の消灯した館内において、魚の睡眠や夜行性の魚の行動などを観察し、班対抗の暗号クイズでは班の仲間と団結してクイズを解きながら友情を深めた。

(5) 体験学習

① キウス周堤墓群見学&ハスカップ収穫体験

千歳の歴史や市内の特産物を学ぶことを目的に、キウス周堤墓群見学&ハスカップの収穫体験を7月2日(土)に実施した。千歳市内の小学1年生から大人まで19名とシニア・リーダー1名が参加して、千歳市埋蔵文化財センター職員の説明を受けながら千歳市埋蔵文化財センターと世界遺産に登録されたキウス周堤墓群を見学。その後、ハスカップ農園で収穫最盛期のハスカップ摘み取り作業を体験し、千歳の歴史や特産物についての理解を深めることができた。

② 美々川カヌー体験

千歳近郊の豊かな自然を体感することを目的として10月16日(日)に、美々川においてカヌー体験を実施した。小学4年生から小学5年生までの10名とシニア・リーダー2名が参加し、美々川の緩やかな流れの中で、カヌーの操縦に苦戦しつつも協力しながら上流へ漕ぎ上がった。途中、緑の美しい水草の群落や、真っ赤な婚姻色のベニザケを観察するなど、豊かな自然とそこに生息する生き物を身近に体感することができた。

(6) 冬休み体験教室

国立日高青少年自然の家において、集団宿泊生活を通して子どもたちの自立と精神的成長を促すことを目的に、新型コロナウイルス感染症対策のため宿泊日数や参加者数を減らすなど一部内容を変更して3年振りに開催した。1月9日(月・祝)から10日(火)までの1泊2日で、小学4年生から中学1年生まで19名、シニア・リーダー6名が参加して、班対抗でスポーツレクや雪合戦、クイズ作りと発表などを行うことにより、仲間と協力、連帯しながら友情を育むことができた。

2 社会教育関連事業

(1) 千歳青少年育成推進員の設置

市内の地域における児童の健全育成対策及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、令和4年6月1日付けから令和6年5月31日までの2年間、「千歳青少年育成推進員」として65名を委嘱した。

(2) ラジオ体操講習会（千歳市子ども会育成連合会 共催事業）

NHKラジオ・テレビ体操で指導されている有賀暁子先生、戸塚寛子先生を講師に迎え、3年振りに7月3日(日)に北ガス文化ホールにおいて開催した。一般参加者やスポーツ推進員、青少年育成活動の支援者等43名が参加して、ラジオ体操の目的や指導法、その正しい形を学んだ。

(3) 緑の村キャンプ大会（千歳市子ども会育成連合会 共催事業）

野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、地域や学校を越えた子ども同士の友情を深めることを目的に開催した。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため宿泊を取りやめ、千子連と町内会との合同デイキャンプとして、青葉公園ピクニック広場において7月30日(土)に実施。小学4年生から中学3年生までの参加者23名と、2町内会の幼児から大人までの23名、千子連等の支援者・指導者35名、シニア・リーダーの13名が参加し、運動会や食事作り、キャンプファイヤーなどを皆で協力して実施し、楽しみながら交流を深めた。

(4) ちとせの子どもクリスマスの集い（千歳市子ども会育成連合会 共催事業）

クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通じて相互の親睦を深めることを目的に、千歳市立緑小学校体育館において12月11日(日)に開催した。市内の小学1年生から中学1年生までの42名と、千子連等の支援者30名、シニア・リーダーの7名が参加し、シニア・リーダーが中心となって新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、松ぼっくりツリー作りやダンス、キャンドルサービスなどを行い、互いに親睦を深めた。

(5) ちとせっ子雪あそび（千歳市子ども会育成連合会 共催事業）

冬期間運動不足になりがちな子ども達の体力向上・健康増進を図るため、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら3年振りの雪中レクリエーションを2月5日(日)に開催した。市内の小学1年生から中学1年生までの41名（1回目：14名、2回目：27名）と、千子連等の支援者25名、シニア・リーダーの9名が参加し、班毎に協力しながらサーモンパークイベント広場にて、障害物競走やスノータワー作りなどの6競技を行い、健康増進と互いの交流を深めることができた。

3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

千歳市内の幼稚園及び小・中学校等の千歳水族館における学習活動に協力し、合計24回、延べ1,376名を受け入れ、「サケ稚魚放流体験」、「採卵と人工授精体験」、「アイン文化学習」、「水生生物観察会」などを実施した。また、市外の小・中・高等学校、大学については延べ80校、5,191名を受け入れ、研修を実施した。

学芸員が直接学校などへ出向いて講義する講師派遣については、市内の小学校及び幼稚園9施設、延べ959名に対して「千歳川の生き物」や「トバ作り体験」、「サケ稚魚放流体験」、「サケのふ化観察学習」などのテーマで14回実施した。また、公立千歳科学技術大学の生物学入門講座を2回実施した。

社会教育施設への協力については、市立図書館事業「青葉の森の水族館」において、5月17日(火)から29日(日)にかけて移動水族館事業を実施し、5月22日(日)には「千歳川の魚たちーコイの仲間」と題した講演会を開催した。

(2) 職業体験への協力

中学生を対象とした職業体験、ならびに大学や専門学校対象のインターンシップ及び博物館学芸員実習の受け入れを実施した。職業体験では、千歳市内の3中学校から計8名の生徒を受け入れた。インターンシップは1大学3名と専門学校生1名の計4名、学芸員資格取得のための博物館実習は5大学計5名を受け入れた。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブと岡山の西大寺ライオンズクラブが主催する、千歳市内小学校と岡山市内小学校とのサケを介した相互交流事業に協力した。

児童及び学校関係者の行き来も3年振りに再開し、1月に千歳市内の3小学校の代表児童が岡山市にサケ卵を届け、3月の放流会には岡山から3小学校の代表児童が参加して、千歳市内の3小学校の代表児童とともにサケ稚魚の放流を行った。

(提供：サケ卵500粒)

12月26日(月)： 岡山市にサケ発眼卵出発へ向けてサケ使節団結団式
3月22日(水)： 合同放流会「サケ旅立ち集会」・千歳川へサケ稚魚放流

(4) 各種生涯学習関連事業への協力

ア CISE サイエンスフェスティバル

1月28日(土)、29日(日)に札幌市の地下歩行空間で開催された「第9回 CISE サイエンスフェスティバル」において、千歳水族館と千歳サケのふるさと村教授会でサケ皮クラフト体験ブースを出展した。

イ サイエンス&アーツカフェ in ちとせ

青少年のための科学の祭典千歳大会実行委員会主催の「サイエンス&アーツカフェ in ちとせ」に協力し、2月19日(日)に千歳水族館学習室において開催した。また、千歳サケのふるさと村教授会がサケ皮クラフト体験ブースを出展した。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業を、次のとおり実施した。

1 水族館管理運営事業

(1) 常設展示

ア 水槽展示

サケ科魚類を中心に、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を水量266トンの大水槽をはじめ大小約40基の水槽で展示。国内外の淡水魚類を中心に、哺乳類のアメリカミンクや鳥類のカイツブリ、甲殻類、サンショウウオやカメなどの両生・は虫類や水生植物など、河川生態系を構成する生物種を幅広く展示し、生物の多様性や水生生物への興味関心を深めた。

イ 体験コーナー

ウグイ属やチョウザメ類を中心とした全面アクリルのタッチプールや、ドクターフィッシュ(ガラ・ルファ)の体験水槽、開放的なカイツブリのドーナツ型流水水槽などにより、来館者が水辺の生き物をより身近に感じることができる場を設けた。

ウ 大型スクリーン解説映像

千歳川を中心に撮影したサケの生活史や、さけ・ます人工ふ化放流事業などについて、およそ100インチの映像で解説。映像は2つのブースで上映し、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外からの来館者にも対応した。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、サケの生態や水中観察窓における観察記録などに関する解説コーナーを設置した。DVDやコンピュータを用いた映像機器なども利用し、千歳川の生物やその営み、環境の変化などについても紹介し、より深い理解を図った。

オ なるほど！？サーモンルーム(展示・学習ゾーン)

サケと人との関わりについて、サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業の歴史、日本各地の伝統的なサケ料理法や様々なサケ料理のレシピなどを中心に、パネル展示やパソコンなどを利用して解説。また「千歳アイヌのサケ文化」エリアでは、パネルや動画、実物の漁具を使った「触れるマレク」などの展示を通じて、千歳におけるアイヌ文化とサケの関わりについて紹介した。

カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を設置し、稚魚放流体験の解説、採卵実習など各種体験教室の場として使用した。また幼稚園や学校など団体の見学時における講話や雨天時の昼食場所などのほか、各団体における会議の利用など、幅広い活用を図った。

(2) 企画展示

ア 企画展示

- ① スロープ展「2022年尾田清昭写真展北海道の野鳥」
3月12日(土)から4月10日(日)まで、尾田清昭さんが恵庭市内で野鳥を中心に撮影した、写真18点を展示した。
- ② GW特別展「みんな鯉こい世界のコイ展」
4月23日(土)から5月31日(火)まで、5月の「こいのぼり」にちなんで錦鯉や外国産のコイの仲間を15種類展示したほか、こいのぼりの豆知識やコイの体の特徴をパネルで紹介した。
- ③ スロープ展「chironsan(吉田尚幸)の写真展千歳市で出会った生き物と自然」
5月21日(土)から6月30日(木)まで、吉田尚幸さんが千歳市内の生き物を中心に撮影した、69点の写真を展示した
- ④ 夏季企画展「え？そうなの？知って驚く外来生物」
7月16日(土)から8月28日(日)まで、千歳水族館周辺地域をはじめとする北海道の身近な場所で見られる24種類の外来種について、生体展示とともにその経緯や自然環境・生態系に及ぼす影響などについてパネルで紹介した。
また、北海道の水辺に生息する外来生物についての講演会を、2階学習室会場と「ツイキャス」による有料のライブ配信“KIFU ZOO”とのハイブリッド形式で5回開催した。各講演会のテーマは次の通り。
 - 1) , 7月24日(日)北海道大学北方圏フィールド科学センター 岸田治 氏
「本州から来た毒ガエル～国内外来種アズマヒキガエルの影響を探る～」
 - 2) , 7月30日(土)国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所
さけます部門資源管理グループ 長谷川功 氏
「北海道の外来種～ニジマス、ブラウントラウト、そしてヤマメの場合～」
 - 3) , 8月6日(土)東京農業大学生物産業部 宇仁義和 氏
「北海道のミンク養殖の歴史と現在の影響」
 - 4) , 8月13日(土)北海道爬虫両棲類研究会 徳田龍弘 氏
「北海道のカメの生息の実際のところ」
 - 5) , 8月27日(土)環境省北海道地方環境事務所支笏洞爺国立公園管理事務所
稲村友里 氏、阿部万純 氏
「支笏湖で外来生物と向き合う～外来種ってなに？」
- ⑤ 入館者550万人記念イベント
「A4の世界に住むにぼしとさかなたちのイラスト展」
9月17日(土)から10月30日(日)まで、イラストレーターのNAMIKOさんが描いた絵画作品147点を展示した。9月17日(土)には「めんだこペーパーくらふと」のワークショップを事前予約制で実施し、18名が参加した。

⑥ 動物画コンクール絵画展

10月1日(土)から10月30日(日)まで、夏休み中に開催していた動物画コンクールの入賞作品1点を含む応募作品14点を千歳川水中観察ゾーンにて展示した。

⑦ 写真展「千歳アイヌ協会写真展」

11月5日(土)から12月25日(日)まで、千歳市在住の医師で写真家でもある榎嶺レイさんが撮影した、アイヌの謡と踊りの記録映像及び写真30点を展示した。

⑧ 写真展「千歳の空の下でⅡ」

2月1日(水)から3月26日(日)まで、千歳市在住の角張隆正氏が千歳市と周辺地域で撮影した、野鳥と飛行機の写真33点を展示した。

⑨ 写真展「I LOVE 千歳 I ♥ キウス」

2月6日(月)から4月23日(日)まで、世界文化遺産・「キウス周堤墓群」で来場者の案内・説明をされているボランティアガイドの方が撮影した写真展を開催し、遺跡周辺で見られる植物の写真54点と、四季折々の美しい風景パネル9点を展示した。

イ サケの成長過程による季節展示

① 親魚展示

サケ属親魚の産卵遡上にあわせ、秋季にサケ属2種の回帰親魚を展示した。

- ・サケ : 9月 2日～12月12日
- ・ベニザケ : 9月 7日～11月 3日

② 発眼卵展示

11月20日(日)から1月10日(火)まで、積み上げたシャンパングラスにサケの発眼卵を入れてクリスマスまでは「グラスツリー」、クリスマス後は「グラストワー」として展示した。

③ ふ化観察展示

サケふるセミナーの採卵体験で得た受精卵を、実施日ごとに6水槽に分けて水中観察ゾーンにおいて、9月25日(日)から1月10日(火)まで展示し、卵から稚魚までの成長過程を観察できるようにした。

ウ 季節ごとのテーマ水槽展示

季節の行事に合わせた装飾の企画水槽を、期間限定で館内に設置した。

・ハロウィン水槽

10月16日(日)～10月31日(月) 水中観察ゾーンに設置

・バレンタイン&ホワイトデー水槽

2月 1日(水)～ 3月14日(火) エントランスホールに設置

エ 企画展「紅白魚合戦」

職員が紅組と白組に分かれ、それぞれのチームで「花」をテーマとした展示水槽を作り、来館者によるオンライン投票で優劣を競い合った。勝利した紅組に投票した方の中から抽選で5名の方に、千歳水族館のグッズをプレゼントした。

- ・決戦期間展示 12月17日(土)～12月25日(日)
- ・勝負結果展示 1月 2日(月・祝)～1月10日(火)

(3) 各種体験学習及びイベント

ア バックヤードツアー

希望する団体等に、水族館の裏側探検や餌やり体験などを行うバックヤードツアーを実施し、学校や一般団体など33団体970名が体験した。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使ったしおりの製作を通じて、アイヌ文化の一端に触れる体験プログラムを実施し、10学校355名が体験した。

ウ サケ稚魚放流体験

学習室に設置したサケの回遊ルートや生態等に関するパネル解説の見学後、サケ稚魚を放流する体験プログラムを、令和4年4月1日(金)から令和4年6月30日(木)まで及び令和5年3月1日(水)から3月31日(金)まで実施。期間中に延べ37,342名が参加した。

エ 季節のイベント・体験

飼育の日、鮭の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせ、水族館をより楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施した。

① 飼育の日イベント「ワクワクわーく体験」

(公社)日本動物園水族館協会が動物園・水族館の役割について広く普及啓発を図るために定めた4月19日(火)の「飼育(419)の日」にちなみ、飼育スタッフの仕事の一部を体験するイベントを開催。4月16日(土)から17日(日)まで実施した大水槽展示魚への給餌やろ過槽掃除などの体験に、26名が参加した。

② ゴールデンウィークイベント(中止)

新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

③ サーモンフェスティバル(中止)

新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

④ 花火大会でのイベント事業

7月23日(土)は千歳市民花火大会(住吉ソフトボール場)の開催に合わせ、開館時間を21時まで4時間延長し、17時以降の延長開館中にはエサやりイベント「カモン・サーモン・晩ごはんだモン」を実施した。また水族館入口前で、各種グッズを販売した。

⑤ ホタルの夕べ

8月3日(水)の「夏休み自然体験教室～水族館編～」で実施した「夜の水族館探険」において、ヘイケボタル点滅の観察会を行い、20名が参加した。

⑥ ハロウィンイベントウィーク

10月29日(土)から31日(月)まで、ハロウィンをテーマとしたクイズラリーを実施し、1,225名が参加した。また、29日(土)と30日(日)は仮装して入館した子ども335名にお菓子を配布。30日(日)にはシニア・リーダーが中心となって「ゲーム&仮装パレード」を行い、事前申込をした小学生21名が仮装で参加し、館内クイズやサーモンパーク内のパレードを楽しんだ。また、10月中は館内にハロウィンにちなんだ装飾や企画水槽を設置し、ハロウィンの雰囲気を出した。

⑦ 鮭活イベント

11月11日の「鮭の日」にちなみ、11月の週末に「鮭活イベント」として、サケ皮を使った「サケ皮しおり作り」、サケの骨を使った「サケ骨のストラップ作り」を実施した。

・サケ皮しおり作り

11月3日(木・祝)・26日(土)に、2階学習室でのサケの皮を使ったしおり作りを行い、104名が参加した。

・サケの骨のストラップ作り

11月27日(日)に2階学習室において、サケの解剖見学の後に、繋がった肩甲骨と烏口骨が魚の形に見える「サケのサケ」を使ったストラップ作りを行い、21名が参加した。

⑧ クリスマスイベント

12月中は館内にクリスマスツリーやイルミネーションなどの装飾を行い、クリスマスらしさを演出した。また、12月10日(土)から25日(日)までをクリスマスイベント期間に設定し、次の2イベントを実施した。

・サンタダイバーと記念撮影

12月24日(土)・25日(日)に、支笏湖大水槽と大水槽でのサンタダイバーによるエサやり並びに記念撮影会を行い、延べ52組175名が参加した。

・オリジナルスノードーム作り体験

12月10日(土)、17日(土)に、オリジナルスノードーム作りを実施し、計36名が参加した。

⑨ 新春イベント

1月2日(月・祝)から1月10日(火)まで新春イベント期間を設け、以下の2つのイベントを実施した。

・干支ダイバーと記念撮影

12月28日(水)及び1月2日(月・祝)に、支笏湖大水槽での干支ダイバー(ウサギ)によるエサやりと記念撮影を行い、45組149名が参加した。

・来館者プレゼント

1月2日(月・祝)の新春オープンに来館して下さった先着300名限定で、オリジナルプリントのお菓子や干支サモン(ウサギ)をデザインした限定缶バッジをプレゼントした。

⑩ 初夢プレゼント

1月2日(月・祝)から10日(火)まで、千歳川水中観察ゾーンにおいて、水族館でかなえない「初夢」を年間パスポート会員限定で募集した。445名の応募があり、5名の初夢を今年中に実現することとした。

また、令和4年1月2日(日)から10日(月・祝)まで募集した初夢の応募者368名の中から、当選した3名の初夢体験に関して、次のとおり実施した。

- ・「水族館1日体験」 4月 9日
- ・「水族館1日体験」 6月13日
- ・「コイ水槽内で記念撮影」 9月25日

⑪ 節分イベント

2月3日(金)に、節分イベントとして「鬼ダイバーと記念撮影&エサまき」を実施し、19組51名が参加した。

オ 飼育係ちょこっと体験

土日祝日のほか、冬休みや春休みの期間に、餌やり体験やバックヤードツアーなど水族館飼育業務に関する体験を、有料にて合計13回実施し、延べ193名が参加した。

カ じゃらんnet遊び体験予約

じゃらんのWeb予約システムを利用した、大水槽のエサやり体験付きバックヤードツアーを実施。今年度からは貸切プランも設定し、延べ1,898名が参加した。

キ コイのエサやり体験

コイの展示水槽において有料のエサやり体験を、平日限定の事前予約制にて実施し、延べ2,021名が参加した。

ク 第49回全道幼児・児童動物画コンクールの作品募集

7月1日(金)から8月24日(水)まで、サケのふるさと千歳水族館やサーモンパーク周辺の生き物を描いた動物画を募集し、14作品の応募があった。また、そのうちの1作品は、「日本動物園水族館協会賞」を受賞した。

ケ しゃけまる水族館

8月9日(火)から11日(木・祝)まで、北海道日本ハムファイターズが札幌ドームで開催した「しゃけまる水族館」に協力し、「札幌市豊平川さけ科学館」、「標津サーモン科学館」、「北の大地の水族館」とともに、出前水族館やサケに関する解説などを実施した。また、4施設に入館可能な「しゃけまる周遊パス」を販売し、63件の購入があった。

コ その”サーモン”どこからきたの？ 海と日本PROJECT

北海道大学大学院水産科学研究院との共催で北々亭 千歳店の協力により8月20日(土)に開催し、6組24名が参加した。北海道大学の清水教授によるサケの講話や、北々亭によるサケの解体実演、寿司握り体験などを通じて、食材としてのサケ資源の現状について認識を深めた。

サ 千歳水族館来館者550万人記念セレモニー

千歳サケのふるさと館としての開館時から、累計入館者数が550万人を達成したことを記念して、8月5日(金)にセレモニーを開催。来館550万人目の方(小学5年生の男の子)にくす玉割のほか、550万人認定書と記念品を贈呈した。

シ 沖縄美ら海水族館開館20周年直前イベント

沖縄美ら海水族館が開館20周年直前オンラインイベント「バーチャル沖縄美ら海水族館で豪華ゲストと楽しもう！」を10月30日(日)に開催した。オンラインビデオ通話ツールGathertownを利用した「くらべてみよう！北と南の水族館」では、千歳水族館館長と美ら海水族館サメ博士のトークや千歳川水中観察窓のライブ配信などに協力した。

ス 鮭の日・アイヌフェスタ

サケと関わりの深い千歳のアイヌ文化を広く紹介するため、千歳アイヌ協会・千歳アイヌ文化伝承保存会による「鮭の日・アイヌフェスタ」の実施に協力した。サーモンパークの池を利用して「チプ(丸木舟)」と「マレク(回転式鉤鈎)」を使ったサケ漁の体験を実施。サーモンパークの広場や大水槽前のフロアにおいては、古式舞踊や伝統楽器の演奏、2階学習室ではアイヌの木彫や、子ども向けのワークショップが実施され、多くの来館者が参加した。

11月12日(土)には民族共生象徴空間「ウポポイ」運営本部文化復興部長 野村正博氏による「白老の鮭迎えの伝承について」、13日(日)には公益財団法人北海道アイヌ協会事務局長 貝澤和明氏による「私が教わったアイヌの心」と題した講演会も開催した。

セ 北の大地の水族館10周年記念連携出前水族館事業

北の大地の水族館のリニューアル10周年を記念したコラボイベントとして、11月5日(土)、6日(日)に北の大地の水族館にて出前イベント「サケの採卵体験」と両施設の館長によるトークイベントを開催。それぞれ30名ほどが参加した。

11月19日(土)、20日(日)には、千歳水族館の学習室ならびに道の駅センターハウスのアトリウムにて北の大地の水族館からの「出前水族館」を実施。また、両施設の館長によるトークイベントも開催し、60名が参加した。

(4) 入館者の拡大推進

ア 団体誘致活動

北海道観光振興機構、千歳観光連盟が道内外及び海外で開催した観光プロモーション等に参加するとともに、道内4市、道外24都府県の旅行代理店に直接訪問するプロモーションを実施した。

また、市内の幼稚園、保育園、小中学校、ホテルへPRパンフレットやイベントちらし・ポスターの配布を行うとともに、近隣市町の幼稚園・保育園へは送付した。

全国の高等学校及び道内小中高等学校約6,200校に体験内容などを紹介したサケのふるさと千歳水族館のPRパンフレットを送付した。

① 北海道観光振興機構プロモーション事業への参加

<道内>

11月 北海道アドベンチャートラベル商談会 札幌市

<道外>

6月 北海道情報交換会 福岡県

8月 北海道教育旅行説明会・相談会 宮城県・埼玉県

10月 北海道情報交換会・教育旅行説明会 静岡県

11月 北海道観光プロモーション・セールスコール・現地プロモーション
富山県・石川県

12月 北海道教育旅行説明会・相談会 東京都・大阪府・広島県

② 千歳観光連盟プロモーション事業への参加

<海外>

2月 「Japan Travel Fair」千歳プロモーション事業 シンガポール

③ 旅行代理店プロモーション

<道内>

7月 札幌市

3月 旭川市・釧路市・帯広市

<道外>

5月 岡山県・香川県・徳島県・高知県・愛媛県

6月 愛知県・佐賀県・福岡県

8月 東京都

10月 静岡県・長野県

11月 京都府・兵庫県

12月 東京都・大阪府・山口県

1月 神奈川県・埼玉県・千葉県・滋賀県・福岡県・熊本県・大分県

3月 宮城県・茨城県・栃木県

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Webメディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、観光施設等にポスターの掲示やPRパンフレットの配置を行った。

テレビ・ラジオやイベント等を通じた広告宣伝・PR活動は、次のとおり行った。

① テレビ・ラジオCM

放送内容	放送機関	放送期間	本数	合計
GW特別展	テレビ	4月18日～5月3日	37	277
	ラジオ	4月25日～5月5日	10	
夏季企画展	テレビ	7月11日～7月20日	43	
	ラジオ	7月23日～7月30日	10	
秋季PR	テレビ	9月15日～9月30日	41	
	ラジオ	9月14日～9月23日	21	
アイヌ事業	テレビ	10月22日～11月9日	22	
稚魚放流	テレビ	3月17日～3月31日	49	
水族館紹介	ラジオ	4月6日～5月25日	44	

② PR活動

放送機関等	番組名	本数	合計
テレビ	どさんこワイド179、ブギウギ専務、今日ドキッ!、スイッチン、イチオシ、巷のonちゃん、サザエさん、さわやか自然百景、暦に集う、世界一受けたい授業、サンデーLIVE!!、ゴゴスマ、情報7Days、news every. グッド! モーニング ほか	46	60
ラジオ	工藤じゅんきの十人十色、ナルミッツ、グッチーグッドフライデー、カーナビラジオ さっぽろ村ラジオ ほか	14	

ウ 多言語システムの提供

近年増加している海外からの小団体旅行（FIT）に対応するため、光IDシステム“LinkRay”により、来館者が持参のスマートフォンやタブレットにインストールした専用のアプリを用いて展示水槽や生物についての解説を日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、タイ語、韓国語の6言語での閲覧サービスを提供した。

エ 音声ガイドシステムによる解説

来館者が自身のスマートフォンやタブレットで利用できる、体験型音声ガイドアプリ「Pokke（ポッケ）」より、千歳市出身の声優・鈴木愛奈さんのナレーションでサケや千歳水族館の展示生物に関する音声ガイドを無料で提供した。

オ ネットワークカメラによるリアル映像配信

ホームページにおいて、水中観察窓及びインディアン水車の様子をインターネットによるライブ映像として配信を継続した。また、受付カウンター横に設置した液晶モニターやエントランスホールの大型アクリルスクリーンにより、当日のイベントや展示情報を紹介し来館者の利用を促すとともに、感染症拡大防止対策等の注意喚起を実施した。

カ 市内小中学生年間パスポートの無料配布
市内の全小中学生に対し年間パスポートを年度当初に無料で配布した。

キ 道の駅機能との連携強化

- ① ピザドゥとのコラボ企画として、当日のレシートや入館券の提示で双方間での割引料金を適用した。
- ② 道の駅のスタンプラリー帳持参者に割引料金を適用し、217名の利用があった。
- ③ 4月1日から4月23日まで、「アイヌの世界をサケと巡るナゾトキ『めざせ！約束の海（アトゥイ）』（千歳市主催）を道の駅と水族館を会場に実施し、謎解きキット持参者に割引料金を適用し、90名の利用があった。

ク 来館者のサービス向上の取組

来館者の満足度向上を図るため、館内に設置した売店にて、水族館のオリジナルグッズや開催中の企画展に関連した作家たちの作品やグッズなどを販売した。

(5) 千歳サケのふるさと村教授会との連携（年度末会員数 33名）

平成7年3月から当館のボランティアグループとして活動を開始。会員の1～3名が、毎日交代で館内の案内や展示解説等の活動を行うほか、当館が実施するイベント行事や展示などに支援と協力をいただいた。

2 年間パスポート会員の加入促進

(1) 年間パスポート個人会員及び法人会員募集

個人会員は、目標5,300人に対し8,016人であった。また、法人会員についても、目標100団体に対し120団体となり、何れも目標を大きく上回る結果となった。

(単位 : 人・社 : 千円)

種 別		令和4年度		令和3年度		増 減	
区 分	年会費	会員数	金 額	会員数	金 額	会員数計	金額計
大 人	1,500	6,823	10,234.5	4,518	6,777	2,305	3,457.5
高校生	1,500	23	34.5	18	27	5	7.5
小中生	500	1,170	585	771	385.5	399	199.5
計	—	8,016	10,854	5,307	7,189.5	2,709	3,664.5
法人	10,000	120	1,200	102	1,020	18	180
合計	—	8,136	12,054	5,409	8,209.5	2,727	3,844.5

3 情報提供活動

(1) 新聞連載

北海道新聞千歳恵庭版のエッセイ欄「せせらぎ」に千歳水族館の展示生物や千歳の自然などの情報を4回掲載した。

(2) ホームページ・SNS

ホームページの国内アクセス件数は386,198件で、都道府県別では東京、北海道、大阪、神奈川、千葉からのアクセスが多かった。また、海外では134カ国からのアクセスがあり、多い順にアメリカ、台湾、香港、韓国となっていた。また、主なSNSの投稿とフォロワー数の状況は、次表のとおりであった。

SNS名	投稿数	フォロワー数 (R5.3.31現在)
Twitter	1, 191	4, 829
Facebook	39	1, 266
Instagram	60	2, 494
LINE	97	2, 449
YouTube	201	580

(3) サモンメール

特別展示等のイベント案内や、水中観察ゾーンの状況等をメールマガジンとして15回配信し、令和4年度末現在、登録者数は3,732名となっている。

(4) Wi-Fi利用

Wi-Fi利用者は累計で3,500名であったが、日本語の利用が88.3%、海外利用は英語5.1%、簡体字2.2%、繁体字1.5%、タイ1%、韓国0.7%であった。

※ 令和4年度 入館者状況

令和4年度は、サケの捕獲数が過去最多となり、遡上の様子が全国ニュースなどで取り上げられたことや、全国旅行支援の開始などが入館者の増加に繋がった。

総入館者数は前年度を76.9%上回る288,128人となり、目標を大きく上回ることができた。

月別入館実績及び前年度対比は下表のとおりである。

(人)

区 分	有 料	無 料	年間パスポート会員	計
4月	11,403	4,931	6,223 (※ 2,046)	22,557
5月	18,009	5,666	5,266 (※ 1,258)	28,941
6月	11,730	3,308	2,858 (※ 663)	17,896
7月	16,107	4,641	3,864 (※ 832)	24,612
8月	23,171	4,988	3,613 (※ 695)	31,772
9月	24,022	6,243	4,485 (※ 641)	34,750
10月	28,886	7,826	5,726 (※ 867)	42,438
11月	24,567	5,128	4,480 (※ 719)	34,175
12月	8,279	1,859	1,782 (※ 184)	11,920
1月	3,036	1,145	1,185 (※ 141)	5,366
2月	6,445	2,505	2,226 (※ 198)	11,176
3月	12,671	5,105	4,749 (※ 860)	22,525
合 計	188,326	53,345	46,457 (※ 9,104)	288,128
前年度	94,944	35,364	32,546 (※ 7,400)	162,854
増 減	93,982	17,981	13,911 (※ 1,704)	125,274
前年対比	198.4%	150.8%	142.7% (※ 123.0%)	176.9%

※年間パスポートのうち、市内小中学生の人数

Ⅱ 役員に関する事項

(令和4年度末現在)

職名	氏名	就任年月日	備考
理事長	入口博美	R 2. 5. 28	
常務理事	南知秀	H29. 4. 1	(R5. 3. 31 辞任)
理事	磯部進一	R 4. 6. 2	
理事	千田義彦	R 2. 5. 28	
理事	守屋憲治	R 4. 6. 2	
理事	生杉隆礼	R 4. 6. 2	
理事	小田賢一	R 2. 5. 28	
理事	安藤孝雄	H24. 4. 1	
監事	諸橋真	R 3. 6. 4	
監事	小泉義隆	R 2. 11. 9	
評議員	高橋基	R 4. 6. 2	
評議員	四方信次	H24. 4. 1	
評議員	福田誠	H24. 4. 1	
評議員	師岡郁彦	H28. 5. 25	
評議員	鈴木善一	R 4. 11. 9	
評議員	上野亜由美	R 2. 5. 28	
評議員	開発治	H28. 5. 25	
評議員	松本千恵子	H29. 11. 6	

Ⅲ 職員に関する事項

1 主要職員

(令和4年度末現在)

職名	氏名	発令年月日	備考
事務局長	奥谷 則世	令和4年4月1日	
事務局次長兼 水族館館長	菊池 基弘	平成27年4月1日	
事務局次長	菊池 司	平成29年4月1日	

2 職員

(令和4年度末現在)

区分	職員数	備考
職員	14	教育3人・水族館10人・法人1人
受付等雇用職員	1	水族館
会計年度雇用職員	5	水族館
売店職員	2	水族館パートタイマー
合計	22	

IV 理事会・評議員会の開催状況

1 理事会

開催	開催日	議案番号	付議案件	結果
第1回	4. 5. 13	報告第1号 報告第2号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号	役員の辞任届の受理について 水族館冬期開館時間の試行結果について 令和3度事業報告について 令和3度会計決算報告について 令和3度監査報告について 評議員会の招集について	報告済 報告済 決定 決定 決定 決定
第2回	4. 6. 2	報告第1号 議案第1号 議案第2号	評議員の選任結果について 理事長の選定について 常務理事の選定について	報告済 決定 決定
第3回	4. 10. 20	報告第1号 議案第1号	定款第22条第3項に基づく報告について 評議員会の招集について	報告済 決定
第4回	5. 2. 7	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 議案第1号 議案第2号	評議員の辞任届の受理について 評議員の選任結果について 令和4年度第1回補正予算の報告について 職員の給与に関する規程等の一部を改正する規程の制定について 令和5年度事業計画及び収支予算について 評議員会の招集について	報告済 報告済 報告済 報告済 決定 決定
第5回	5. 3. 29	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 議案第1号 議案第2号 議案第3号	定款第22条第3項に基づく報告について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について 役員の辞任届の受理について 役員の選任結果について 令和4年度第2回補正予算について 処務規程の一部を改正する規程の制定について 水族館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	報告済 報告済 報告済 報告済 決定 決定 決定

2 評議員会

開催	開催日	議案番号	付 議 案 件	結 果
第1回 (定時)	4. 6. 2	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	令和3年第2回補正予算について 役員の辞任届の受理について 評議員の辞任届の受理について 水族館冬期開館時間の試行結果について 令和3年度事業報告について 令和3年度会計決算報告について 令和3年度監査報告について 役員の選任について 評議員の選任について	報告済 報告済 報告済 報告済 決 定 決 定 決 定 決 定 決 定
第2回	4. 11. 9	報告第1号 報告第2号 報告第3号 議案第1号	理事長及び常務理事の選定結果について 令和4年度業務執行状況及び予算執行状況について 評議員の辞任届の受理について 評議員の選任について	報告済 報告済 報告済 決 定
第3回	5. 2. 20	報告第1号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 議案第1号 議案第2号	令和5年度事業計画及び収支予算について 令和4年度第1回補正予算について 職員の給与に関する規程等の一部を改正する規程の制定について 役員の辞任届の受理について 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部を改正する規程の制定について 役員の選任について	報告済 報告済 報告済 報告済 決 定 決 定

令和4年度決算報告書

I 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

○総括表

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,541,819	1,530,860	10,959
預金	42,359,524	42,896,491	△ 536,967
未収金	2,508,666	1,737,987	770,679
流動資産合計	46,410,009	46,165,338	244,671
2 固定資産			
基本財産			
基本財産引当資産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
特定資産			
建物	68,937,855	70,569,520	△ 1,631,665
建物附属設備	27,245,904	31,906,855	△ 4,660,951
構築物	14,604,859	21,907,287	△ 7,302,428
什器備品	84,728	393,985	△ 309,257
退職給付引当資産	18,180,277	15,987,346	2,192,931
減価償却引当資産	62,290,800	46,290,800	16,000,000
修繕料引当資産	80,158,319	59,158,319	21,000,000
特定資産合計	271,502,742	246,214,112	25,288,630
その他の固定資産			
建物	203,438,102	213,192,282	△ 9,754,180
建物附属設備	22,997,591	13,618,064	9,379,527
構築物	790,380	821,600	△ 31,220
機械装置	9,068,705	8,019,662	1,049,043
什器備品	9,734,479	9,816,725	△ 82,246
地下観察護岸	1,009,299	2,018,594	△ 1,009,295
リース資産	0	142,884	△ 142,884
電話加入権	290,984	290,984	0
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	247,349,540	247,940,795	△ 591,255
固定資産合計	528,852,282	504,154,907	24,697,375
資産合計	575,262,291	550,320,245	24,942,046
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	45,130,751	44,927,637	203,114
前受金	153,177	8,102	145,075
預り金	1,022,071	1,043,027	△ 20,956
1年以内返済予定リース債務	0	142,884	△ 142,884
賞与引当金	4,917,502	4,591,487	326,015
流動負債合計	51,223,501	50,713,137	510,364
2 固定負債			
退職給付引当金	18,180,277	15,987,346	2,192,931
固定負債合計	18,180,277	15,987,346	2,192,931
負債合計	69,403,778	66,700,483	2,703,295
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
地方公共団体補助金	251,422,465	228,326,766	23,095,699
千歳市出損金	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産合計	261,422,465	238,326,766	23,095,699
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(251,422,465)	(228,326,766)	()
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(1,900,000)	(1,900,000)	(0)
正味財産合計	505,858,513	483,619,762	22,238,751
負債及び正味財産合計	575,262,291	550,320,245	24,942,046

Ⅱ 令和4年度 正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

○ 総括表

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	200	200	0	
基本財産受取利息	200	200	0	
② 特定資産運用益	7,119	6,878	241	
特定資産受取利息	7,119	6,878	241	
③ 事業収益	126,883,503	68,902,947	57,980,556	
教育事業収入	321,920	152,700	169,220	
水族館管理運営事業収入	124,929,183	67,077,996	57,851,187	
体験料収入	1,632,400	1,672,251	△39,851	
④ 受取会費	12,054,000	8,209,500	3,844,500	
個人会員会費収入	10,854,000	7,189,500	3,664,500	
法人会員会費収入	1,200,000	1,020,000	180,000	
⑤ 受取補助金等	117,517,232	137,054,425	△19,537,193	
教育事業補助金収入	20,504,298	18,303,818	2,200,480	
水族館管理運営事業補助金収入	70,551,000	81,368,105	△10,817,105	
管理費補助金収入	10,364,702	9,459,045	905,657	
特定資産取得補助金収入	2,192,931	2,078,185	114,746	
受取補助金等振替額	13,904,301	25,845,272	△11,940,971	
⑥ 雑収益	3,238,287	224,964	3,013,323	
受取利息収入	505	325	180	
雑収益	3,237,782	224,639	3,013,143	
⑦ 寄付金収入	255,000	3,164,313	△2,909,313	
寄付金収入	255,000	3,164,313	△2,909,313	
経常収益計	259,955,341	217,563,227	42,392,114	
(2) 経常費用				
① 事業費	249,737,614	216,213,356	33,524,258	
役員報酬	1,271,556	1,267,111	4,445	
給料手当	68,304,507	65,153,012	3,151,495	
賃金	1,137,860	1,070,515	67,345	
賞与引当繰入額	4,415,482	4,143,585	271,897	
退職給付費用	2,046,790	1,879,443	167,347	
福利厚生費	12,092,029	11,466,342	625,687	
報償費	1,177,137	703,300	473,837	
会議費	17,000	23,500	△6,500	
旅費交通費	2,626,233	963,600	1,662,633	
通信運搬費	940,128	871,860	68,268	
減価償却費	31,293,263	31,193,378	99,885	
備品費	2,514,299	796,412	1,717,887	
消耗品費	7,202,278	5,858,064	1,344,214	
修繕費	31,701,550	23,632,180	8,069,370	
印刷製本費	360,624	458,502	△97,878	
光熱水費	30,287,062	24,041,703	6,245,359	
使用料及び賃借料	2,583,601	1,901,367	682,234	
車両経費	3,517,926	2,987,233	530,693	
保険料	1,674,977	1,599,410	75,567	

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備 考
手数料	2,198,197	1,100,752	1,097,445	
諸謝金	231,813	233,676	△1,863	
交際費	117,850	14,000	103,850	
食糧費	308,709	84,407	224,302	
宣伝広告費	13,377,817	10,806,014	2,571,803	
イベント費	2,776,883	4,643,192	△1,866,309	
委託料	15,099,284	13,813,989	1,285,295	
原材料費	203,903	183,075	20,828	
租税公課	8,519,346	2,322,200	6,197,146	
負担金	1,382,100	1,379,060	3,040	
外注費	0	1,320,000	△1,320,000	
雑費	357,410	302,474	54,936	
② 管理費	11,074,675	10,178,957	895,718	
役員報酬	2,013,410	1,825,730	187,680	
給料手当	3,627,536	3,531,517	96,019	
賞与引当繰入額	502,020	447,902	54,118	
退職給付費用	146,141	198,742	△52,601	
福利厚生費	988,299	1,014,079	△25,780	
会議費	11,202	7,601	3,601	
通信運搬費	10,600	17,000	△6,400	
減価償却費	509,693	533,382	△23,689	
消耗品費	51,260	21,424	29,836	
光熱水費	1,740,700	1,370,619	370,081	
使用料及び賃借料	587,400	587,400	0	
保険料	91,590	89,451	2,139	
諸謝金	514,360	514,360	0	
租税公課	277,714	17,000	260,714	
雑費	2,750	2,750	0	
経常費用計	260,812,289	226,392,313	34,419,976	
当期経常増減額	△856,948	△8,829,086	7,972,138	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取補助金等振替額	0	1	△1	
経常外収益計	0	1	△1	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	11,061	△11,061	
経常外費用計	0	11,061	△11,061	
当期経常外増減額	0	△11,060	11,060	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△856,948	△8,840,146	7,983,198	
一般正味財産期首残高	245,292,996	254,133,142	△8,840,146	
一般正味財産期末残高	244,436,048	245,292,996	△856,948	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金(指定)	37,000,000	32,000,000	5,000,000	
一般正味財産への振替額	13,904,301	25,845,273	△11,940,972	
当期指定正味財産増減額	23,095,699	6,154,727	16,940,972	
指定正味財産期首残高	238,326,766	232,172,039	6,154,727	
指定正味財産期末残高	261,422,465	238,326,766	23,095,699	
III 正味財産期末残高	505,858,513	483,619,762	22,238,751	

令和4年度正味財産増減計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

○ 会計区分表

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	200	0	200	
基本財産受取利息	200	0	200	
② 特定資産運用益	7,098	21	7,119	
特定資産受取利息	7,098	21	7,119	
③ 事業収益	126,883,503		126,883,503	
教育事業収入	321,920		321,920	
水族館管理運営事業収入	124,929,183		124,929,183	
体験料収入	1,632,400		1,632,400	
④ 受取会費	12,054,000		12,054,000	
個人会員会費収入	10,854,000		10,854,000	
法人会員会費収入	1,200,000		1,200,000	
⑤ 受取補助金等	107,006,389	10,510,843	117,517,232	
教育事業補助金収入	20,504,298		20,504,298	
水族館管理運営事業補助金収入	70,551,000		70,551,000	
管理費補助金収入		10,364,702	10,364,702	
特定資産取得補助金収入	2,046,790	146,141	2,192,931	
受取補助金等振替額	13,904,301		13,904,301	
⑥ 雑収益	3,238,287		3,238,287	
受取利息収入	505		505	
雑収益	3,237,782		3,237,782	
⑦ 寄付金収入	255,000		255,000	
寄付金収入	255,000		255,000	
経常収益計	249,444,477	10,510,864	259,955,341	
(2) 経常費用				
① 事業費	249,737,614		249,737,614	
役員報酬	1,271,556		1,271,556	
給料手当	68,304,507		68,304,507	
賃金	1,137,860		1,137,860	
賞与引当繰入額	4,415,482		4,415,482	
退職給付費用	2,046,790		2,046,790	
福利厚生費	12,092,029		12,092,029	
報償費	1,177,137		1,177,137	
会議費	17,000		17,000	
旅費交通費	2,626,233		2,626,233	
通信運搬費	940,128		940,128	
減価償却費	31,293,263		31,293,263	
備品費	2,514,299		2,514,299	
消耗品費	7,202,278		7,202,278	
修繕費	31,701,550		31,701,550	
印刷製本費	360,624		360,624	
光熱水費	30,287,062		30,287,062	
使用料及び賃借料	2,583,601		2,583,601	
車両経費	3,517,926		3,517,926	
保険料	1,674,977		1,674,977	

(単位:円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	合 計	備 考
手数料	2,198,197		2,198,197	
諸謝金	231,813		231,813	
交際費	117,850		117,850	
食糧費	308,709		308,709	
宣伝広告費	13,377,817		13,377,817	
イベント費	2,776,883		2,776,883	
委託料	15,099,284		15,099,284	
原材料費	203,903		203,903	
租税公課	8,519,346		8,519,346	
負担金	1,382,100		1,382,100	
雑費	357,410		357,410	
② 管理費		11,074,675	11,074,675	
役員報酬		2,013,410	2,013,410	
給料手当		3,627,536	3,627,536	
賞与引当繰入額		502,020	502,020	
退職給付費用		146,141	146,141	
福利厚生費		988,299	988,299	
会議費		11,202	11,202	
通信運搬費		10,600	10,600	
減価償却費		509,693	509,693	
消耗品費		51,260	51,260	
光熱水費		1,740,700	1,740,700	
使用料及び賃借料		587,400	587,400	
保険料		91,590	91,590	
諸謝金		514,360	514,360	
租税公課		277,714	277,714	
雑費		2,750	2,750	
経常費用計	249,737,614	11,074,675	260,812,289	
当期経常増減額	△293,137	△563,811	△856,948	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△293,137	△563,811	△856,948	
一般正味財産期首残高	-	-	245,292,996	
一般正味財産期末残高	-	-	244,436,048	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	37,000,000	0	37,000,000	
一般正味財産への振替額	13,904,301	0	13,904,301	
当期指定正味財産増減額	23,095,699	0	23,095,699	
指定正味財産期首残高	-	-	238,326,766	
指定正味財産期末残高	-	-	261,422,465	
III 正味財産期末残高	-	-	505,858,513	

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 建物・建物附属設備・構築物・機械装置・車両運搬具・什器備品・地下観察護岸
固定資産の減価償却方法は法定償却方法による。

② リース資産
所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産は
リース期間を耐用年数とし、残存価格をゼロとする定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

① 賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

② 退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上して
いる。

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込処理方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
(特定資産)				
建物	70,569,520	0	1,631,665	68,937,855
建物附属設備	31,906,855	0	4,660,951	27,245,904
構築物	21,907,287	0	7,302,428	14,604,859
什器備品	393,985	0	309,257	84,728
退職給付引当資産	15,987,346	2,192,931	0	18,180,277
減価償却引当資産	46,290,800	16,000,000	0	62,290,800
修繕料引当資産	59,158,319	21,000,000	0	80,158,319
小 計	246,214,112	39,192,931	13,904,301	271,502,742
合 計	256,214,112	39,192,931	13,904,301	281,502,742

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
(基本財産)				
基本財産引当資産	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
小 計	10,000,000	(10,000,000)	(0)	(0)
(特定資産)				
建物	68,937,855	(68,937,855)	(0)	(0)
建物附属設備	27,245,904	(27,245,904)	(0)	(0)
構築物	14,604,859	(14,604,859)	(0)	(0)
什器備品	84,728	(84,728)	(0)	(0)
退職給付引当資産	18,180,277	(0)	(0)	(18,180,277)
減価償却引当資産	62,290,800	(60,390,800)	(1,900,000)	(0)
修繕料引当資産	80,158,319	(80,158,319)	(0)	(0)
小 計	271,502,742	(251,422,465)	(1,900,000)	(18,180,277)
合 計	281,502,742	(261,422,465)	(1,900,000)	(18,180,277)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物(特定資産)	81,583,258	12,645,403	68,937,855
建物附属設備(特定資産)	87,104,096	59,858,192	27,245,904
構築物(特定資産)	104,867,482	90,262,623	14,604,859
什器備品(特定資産)	46,662,834	46,578,106	84,728
特定資産計	320,217,670	209,344,324	110,873,346
建物(その他)	742,814,962	539,376,860	203,438,102
建物附属設備(その他)	305,234,814	282,237,223	22,997,591
構築物(その他)	12,572,850	11,782,470	790,380
機械装置(その他)	247,065,745	237,997,040	9,068,705
什器備品(その他)	46,471,576	36,737,097	9,734,479
地下観察護岸(その他)	100,929,561	99,920,262	1,009,299
リース資産(その他)	4,000,752	4,000,752	0
その他資産計	1,459,090,260	1,212,051,704	247,038,556
合 計	1,779,307,930	1,421,396,028	357,911,902

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
(補助金)						
教育事業補助金	千歳市	0	20,504,298	20,504,298	0	
水族館管理運営事業補助金	千歳市	0	70,551,000	70,551,000	0	
水族館再整備事業補助金	千歳市	124,777,646	0	13,904,301	110,873,345	指定正味財産
管理費補助金	千歳市	0	10,364,702	10,364,702	0	
特定資産取得補助金	千歳市	103,549,119	37,000,000	0	140,549,119	指定正味財産
特定資産取得補助金 (退職給付引当金分)	千歳市	15,483,645	2,192,931	0	17,676,576	固定負債
市内観光施設基盤強化事業補助金	千歳市	1	0	0	1	指定正味財産
合 計		243,810,411	140,612,931	115,324,301	269,099,041	

平成27年度から補助金の内訳を正味財産ベースに変更した。

水族館再整備事業補助金には、資産取得の為の特定資産取崩収入を含めている。

(平成26年度取崩 16,040,000円、平成27年度取崩 48,000,000円)

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上及び特定資産取崩による振替額	13,904,301
合 計	13,904,301

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 北洋銀行千歳中央支店	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	建 物	70,569,520	0	1,631,665	68,937,855
	建物附属設備	31,906,855	0	4,660,951	27,245,904
	構 築 物	21,907,287	0	7,302,428	14,604,859
	什 器 備 品	393,985	0	309,257	84,728
	退職給付引当資産	15,987,346	2,192,931	0	18,180,277
	減価償却引当資産	46,290,800	16,000,000	0	62,290,800
	修繕料引当資産	59,158,319	21,000,000	0	80,158,319
	特定資産計	246,214,112	39,192,931	13,904,301	271,502,742

2. 引当金の明細

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	4,591,487	4,917,502	4,591,487	0	4,917,502

職員退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職 給付引当金	15,987,346	2,192,931	0	0	18,180,277

IV 財産目録

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	130,359
		現金釣り銭		950,000
		売上現金		461,460
			<現金計>	1,541,819
	預金	普通預金		
		北海道銀行千歳支店	運転資金として	369,671
		北央信用組合末広支店	運転資金として	191,039
		北洋銀行千歳中央支店	運転資金として	41,593,626
		北央信用組合千歳支店	運転資金として	4,733
		北海道信用金庫千歳支店	運転資金として	200,455
	<預金計>	42,359,524		
未収金	旅行代理店他28件	公益事業に供する入館料収入等の未収入分	2,508,666	
流動資産合計			46,410,009	
(固定資産)				
基本財産	基本財産	定期預金		
	引当資産	北洋銀行千歳中央支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000
特定資産	建物	リニューアル 改修工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	68,937,855
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 空調換気設備他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	7,560,612
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 電気設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	7,252,857
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 水槽配管工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	7,454,492
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル エレベーター工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4,977,943
		千歳市花園2丁目312番地		
		<建物附属設備計>	27,245,904	
	構築物	リニューアル 水槽展示工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	14,604,859
	什器備品	リニューアル パネル他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	5
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル ロビーチェア他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	84,715
		千歳市花園2丁目312番地		
		Wi-Fi設備設置工事	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル パソコン・プロジェクター他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	4
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 除湿器他	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	2
		千歳市花園2丁目312番地		
		リニューアル 放送設備	公益目的保有財産であり、公益事業に使用している	1
		千歳市花園2丁目312番地		
		<什器備品計>	84,728	
	退職給付引当資産	定期預金		
		北海道信用金庫千歳支店	従業員の退職金支払に備えたもの	18,180,277
普通預金				
北洋銀行千歳中央支店		次年度以降の公益事業の設備投資のため	22,290,800	
減価償却引当資産	定期預金			
	北洋銀行千歳中央支店	次年度以降の公益事業の設備投資のため	40,000,000	
		<減価償却引当資産計>	62,290,800	
修繕料引当資産	普通預金			
	北洋銀行千歳中央支店	公益事業の修繕のため	40,158,319	
	定期預金			
北央信用組合末広支店	公益事業の修繕のため	40,000,000		
	<修繕料引当資産計>	80,158,319		
			<<特定資産計>>	271,502,742

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
その他の 固定資産	建物	水族館 建物本体(1棟) 2,981.672㎡ 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	190,414,435	
		泉沢飼育棟 (1棟) 218.4㎡ 千歳市泉沢1000番地7地先 物置等 (4棟)	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	10,669,286 2,341,443	
		千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	12,938	
			<建物計>	203,438,102	
		建物附属設備	水族館 給排水電灯設備他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	22,997,584
	泉沢飼育棟 電気・給排水設備 千歳市泉沢1000番地7地先		管理目的に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	4 3	
			<建物附属設備計>	22,997,591	
	構築物	水族館 展示水槽 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1	
		泉沢飼育棟 飼育水槽他 (9台) 千歳市泉沢1000番地7地先	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	9	
		地下水井戸 (1台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	790,370	
			<構築物計>	790,380	
	機械装置	水族館 濾過機械配管装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3	
		水族館 取水装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	8,333,794	
		水族館 動力計装設備 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2	
		水族館 ボイラー・循環装置 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	541,016	
		水族館 展示水槽監視システム 千歳市花園2丁目312番地	管理目的使用に使用している 公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	13,905 179,982	
		水族館 テレビモニター他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	3	
			<機械装置計>	9,068,705	
		什器備品	展示水槽他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	95,701
			物置冷蔵庫ポンプ他 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	510,901
			サケ模型 (8台) 千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	8
	顕微鏡他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	45,637	
	サモン着ぐるみ 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	2	
	除雪機他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	104,001	
	パソコン他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	8,132,809	
	芳名板他 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	313,528	
	電話主装置取替 千歳市花園2丁目312番地		公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	531,892	
	<什器備品計>		9,734,479		

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	地下観察護岸	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業に 使用している	1,009,299
	電話加入権	千歳市花園2丁目312番地	公益目的保有財産であり、公益事業 に使用している	290,984
	出資金	北央信用組合千歳支店	公益目的保有財産	10,000
		北海道信用金庫千歳支店	公益目的保有財産	10,000
			<出資金計>	20,000
			<<その他の固定資産計>>	247,349,540
固定資産合計				528,852,282
資産合計				575,262,291
(流動負債)	未払金	様々なまると他98件	公益事業に供する消耗品購入等の未払い分	45,130,751
	前受金	JTB他4件	公益事業に供する入館料前受け分	153,177
	預り金	新さっぽろ年金事務所 千歳市 長沼町 恵庭市 札幌南税務署	役職員の社会保険料の預かり分	683,152
			役職員の住民税の預かり分	194,400
			役職員の住民税の預かり分	12,400
			役職員の住民税の預かり分	23,200
			役職員の源泉所得税の預かり分	108,919
		<預り金計>	1,022,071	
賞与引当金	従業員に対するもの	従業員に対する賞与引当分	4,917,502	
流動負債合計				51,223,501
(固定負債)	退職給付 引当金	従業員に対するもの	公益目的事業及び管理目的の業務に 従事する職員の退職給付金	18,180,277
固定負債合計				18,180,277
負債合計				69,403,778
正味財産				505,858,513
うち	一般正味財産			244,436,048
	指定正味財産			261,422,465

V 収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

○ 総括表

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計
中 科 目			
小 科 目			
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	200	0	200
② 特定資産運用収入	7,098	21	7,119
③ 事業収入	126,883,503	0	126,883,503
④ 会費収入	12,054,000	0	12,054,000
⑤ 補助金等収入	130,102,088	10,510,843	140,612,931
⑥ 雑収入	3,238,287	0	3,238,287
⑦ 寄付金収入	255,000	0	255,000
事業活動収入計 (A)	272,540,176	10,510,864	283,051,040
2 事業活動支出			
① 事業費支出	216,125,664	0	216,125,664
② 管理費支出	0	10,364,723	10,364,723
事業活動支出計 (B)	216,125,664	10,364,723	226,490,387
事業活動収支差額(A)－(B) (C)	56,414,512	146,141	56,560,653

(単位:円)

大 科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	合 計	
				中 科 目
				小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	39,046,790	146,141	39,192,931	
② 固定資産取得支出	17,307,400	0	17,307,400	
投資活動支出計(E)	56,354,190	146,141	56,500,331	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 56,354,190	△ 146,141	△ 56,500,331	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計(G)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他の財務活動支出	142,884	0	142,884	
財務活動支出計(H)	142,884	0	142,884	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 142,884	0	△ 142,884	
当期収支差額 (C)+(F)+(I) 【A】	△ 82,562	0	△ 82,562	
前期繰越収支差額 【B】	186,572	0	186,572	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	104,010	0	104,010	

V 収 支 計 算 書
(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

○ 公益目的事業会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
I 事業活動収支の部							
1 事業活動収入							
① 基本財産運用収入	1,000	0	0	1,000	200	800	
1 基本財産利息収入	1,000	0	0	1,000	200	800	
② 特定資産運用収入	6,000	2,000	0	8,000	7,098	902	
1 特定資産利息収入	6,000	2,000	0	8,000	7,098	902	
③ 事業収入	73,071,000	48,726,000	0	121,797,000	126,883,503	△ 5,086,503	
1 教育事業収入	913,000	△ 513,000	0	400,000	321,920	78,080	
2 水族館管理運営 事業収入	71,158,000	49,239,000	0	120,397,000	124,929,183	△ 4,532,183	
3 体験料収入	1,000,000	0	0	1,000,000	1,632,400	△ 632,400	
④ 会費収入	8,155,000	2,487,000	0	10,642,000	12,054,000	△ 1,412,000	
1 個人会員会費収入	7,155,000	2,487,000	0	9,642,000	10,854,000	△ 1,212,000	
2 法人会員会費収入	1,000,000	0	0	1,000,000	1,200,000	△ 200,000	
⑤ 補助金等収入	145,106,000	0	0	145,106,000	130,102,088	15,003,912	
1 教育事業補助金収入	24,340,000	0	0	24,340,000	20,504,298	3,835,702	
2 水族館管理運営 事業補助金収入	81,641,000	0	0	81,641,000	70,551,000	11,090,000	
3 特定資産取得 補助金収入	39,125,000	0	0	39,125,000	39,046,790	78,210	
⑥ 雑収入	51,000	3,146,000	0	3,197,000	3,238,287	△ 41,287	
1 運用財産利息収入	1,000	0	0	1,000	505	495	
2 雑収入	50,000	3,146,000	0	3,196,000	3,237,782	△ 41,782	
⑦ 寄付金収入	0	255,000	0	255,000	255,000	0	
1 寄付金収入	0	255,000	0	255,000	255,000	0	
事業活動収入計(A)	226,390,000	54,616,000	0	281,006,000	272,540,176	8,465,824	

備	考
基本財産利息	
特定資産利息	
教育事業参加者負担金収入	
入館料収入等、有料入館者数 188,326 人	
個人会員 販売数 8,016名	
法人会員 販売数 120件	
特定資産取得支出充当	
運用財産利息	

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
2 事業活動支出							
① 事業費支出	207,555,000	16,849,000	0	224,404,000	216,125,664	8,278,336	
1 教育事業費支出	25,254,000	△ 513,000	0	24,741,000	20,826,273	3,914,727	
役員報酬支出	320,000	0	0	320,000	317,889	2,111	
給料手当支出	15,954,000	0	0	15,954,000	14,022,658	1,931,342	
福利厚生費支出	2,891,000	0	0	2,891,000	2,411,965	479,035	
報償費支出	1,614,000	0	0	1,614,000	1,177,137	436,863	
旅費交通費支出	109,000	0	0	109,000	46,340	62,660	
通信運搬費支出	124,000	0	0	124,000	79,922	44,078	
消耗品費支出	866,000	△ 200,000	0	666,000	433,366	232,634	
印刷製本費支出	44,000	0	0	44,000	34,100	9,900	
光熱水費支出	38,000	0	0	38,000	15,114	22,886	
使用料及び賃借料支出	858,000	△ 300,000	0	558,000	480,820	77,180	
車両経費支出	993,000	200,000	0	1,193,000	1,103,784	89,216	
保険料支出	165,000	0	0	165,000	52,457	112,543	
手数料支出	4,000	0	0	4,000	0	4,000	
食糧費支出	684,000	△ 213,000	0	471,000	259,721	211,279	
負担金支出	521,000	0	0	521,000	381,100	139,900	
雑支出	69,000	0	0	69,000	9,900	59,100	
2 水族館管理運営 事業費支出	182,301,000	17,362,000	0	199,663,000	195,299,391	4,363,609	
役員報酬支出	958,000	0	0	958,000	953,667	4,333	
給料手当支出	58,652,000	0	0	58,652,000	58,425,434	226,566	
賃金支出	1,332,000	0	0	1,332,000	1,137,860	194,140	
福利厚生費支出	10,712,000	△ 800,000	0	9,912,000	9,680,064	231,936	

備	考
教育事業費支出の説明	
・人件費	16,752,512
職員 3人	
・車両リース等車両経費	1,103,784
・緑の村キャンプ大会経費	435,552
・夏休み自然体験教室経費	192,212
・冬休み体験教室経費	229,860
・サーモンツアー経費	37,217
・サケふるセミナー等経費	18,190
・ジュニア・シニアリーダー活動事業経費	331,566
・体験学習経費	84,275
・青少年育成推進員経費	933,117
・ちとせの子どもクリスマスの集い経費	71,974
・ちとせっ子雪あそび経費	57,788
・子ども会関係経費	389,640
・その他経費	188,586
水族館管理運営事業費支出の説明	
・人件費	70,197,025
職員・会計年度雇用職員 16人	59,379,101
パートタイマー 2人	1,137,860
福利厚生費	9,680,064

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
会議費支出	60,000	0	0	60,000	17,000	43,000	
旅費交通費支出	2,579,000	100,000	0	2,679,000	2,579,893	99,107	
通信運搬費支出	1,083,000	0	0	1,083,000	860,206	222,794	
備品費支出	0	2,800,000	0	2,800,000	2,514,299	285,701	
消耗品費支出	8,250,000	△ 1,000,000	0	7,250,000	6,768,912	481,088	
修繕費支出	20,433,000	11,500,000	0	31,933,000	31,701,550	231,450	
印刷製本費支出	327,000	0	0	327,000	326,524	476	
光熱水費支出	25,252,000	5,200,000	0	30,452,000	30,271,948	180,052	
使用料及び賃借料支出	2,756,000	△ 500,000	0	2,256,000	2,102,781	153,219	
車両経費支出	2,407,000	152,000	0	2,559,000	2,414,142	144,858	
保険料支出	2,169,000	△ 540,000	0	1,629,000	1,622,520	6,480	
手数料支出	1,463,000	1,200,000	0	2,663,000	2,198,197	464,803	
諸謝金支出	321,000	0	0	321,000	231,813	89,187	
交際費支出	50,000	100,000	0	150,000	117,850	32,150	
食糧費支出	50,000	0	0	50,000	48,988	1,012	
宣伝広告費支出	12,266,000	1,500,000	0	13,766,000	13,377,817	388,183	
イベント費支出	3,514,000	△ 600,000	0	2,914,000	2,776,883	137,117	
委託料支出	15,993,000	△ 600,000	0	15,393,000	15,099,284	293,716	
原材料費支出	330,000	0	0	330,000	203,903	126,097	
租税公課支出	9,609,000	△ 1,000,000	0	8,609,000	8,519,346	89,654	
負担金支出	1,233,000	△ 150,000	0	1,083,000	1,001,000	82,000	
雑支出	502,000	0	0	502,000	347,510	154,490	
事業活動支出計(B)	207,555,000	16,849,000	0	224,404,000	216,125,664	8,278,336	
事業活動収支差額(A) - (B) (C)	18,835,000	37,767,000	0	56,602,000	56,414,512	187,488	

備	考
水族館管理運営事業費支出の説明	
・施設維持管理経費	48,970,680
・宣伝活動経費	18,059,803
・租税公課	8,519,346
・クーポン券等手数料	2,198,197
・展示魚収集飼育経費	3,241,467
・入場券印刷経費	1,140,280
・車両リース等経費	2,414,142
・イベント開催経費	2,776,883
・電話郵便等通信費	777,110
・電気・機械設備等修繕費	31,701,550
・調査研究経費	97,000
・その他経費	5,205,908

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a)-(b)	
							中 科 目
							小 科 目
Ⅱ 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
① 特定資産取崩収入	34,887,000	△ 34,887,000	0	0	0	0	
1 減価償却引当 資産取崩収入	14,454,000	△ 14,454,000	0	0	0	0	
2 修繕料引当 資産取崩収入	20,433,000	△ 20,433,000	0	0	0	0	
投資活動収入計(D)	34,887,000	△ 34,887,000	0	0	0	0	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	39,125,000	0	0	39,125,000	39,046,790	78,210	
1 退職給付引当 資産取得支出	2,125,000	0	0	2,125,000	2,046,790	78,210	
2 減価償却引当 資産取得支出	16,000,000	0	0	16,000,000	16,000,000	0	
3 修繕料引当 資産取得支出	21,000,000	0	0	21,000,000	21,000,000	0	
② 固定資産取得支出	14,454,000	2,880,000	0	17,334,000	17,307,400	26,600	
1 建物附属設備取得支出	12,749,000	△ 800,000	0	11,949,000	11,940,500	8,500	
2 機械装置取得支出	1,705,000	880,000	0	2,585,000	2,579,500	5,500	
3 什器・備品購入支出	0	2,800,000	0	2,800,000	2,787,400	12,600	
投資活動支出計(E)	53,579,000	2,880,000	0	56,459,000	56,354,190	104,810	
投資活動収支差額(D)-(E) (F)	△ 18,692,000	△ 37,767,000	0	△ 56,459,000	△ 56,354,190	△ 104,810	
Ⅲ 財務活動収支の部							
1 財務活動収入							
財務活動収入計(G)	0	0	0	0	0	0	
2 財務活動支出							
① その他の財務活動支出	143,000	0	0	143,000	142,884	116	
1 1年以内リース債務	143,000	0	0	143,000	142,884	116	
財務活動支出計(H)	143,000	0	0	143,000	142,884	116	
財務活動収支差額(G)-(H) (I)	△ 143,000	0	0	△ 143,000	△ 142,884	△ 116	
当期収支差額 (C) + (F) + (I) 【A】	0	0	0	0	△ 82,562	82,562	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	186,572	△ 186,572	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	104,010	△ 104,010	

V 収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日)

○ 法人会計

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)
中 科 目						
小 科 目						
I 事業活動収支の部						
1 事業活動収入						
② 特定資産運用収入	0	0	0	0	21	△ 21
1 特定資産利息収入	0	0	0	0	21	△ 21
⑤ 補助金等収入	11,052,000	0	0	11,052,000	10,510,843	541,157
1 管理費補助金収入	10,899,000	0	0	10,899,000	10,364,702	534,298
2 特定資産取得補助金収入	153,000	0	0	153,000	146,141	6,859
事業活動収入計(A)	11,052,000	0	0	11,052,000	10,510,864	541,136
2 事業活動支出						
② 管理費支出	10,899,000	0	0	10,899,000	10,364,723	534,277
1 一般管理費支出	10,899,000	0	0	10,899,000	10,364,723	534,277
役員報酬支出	2,907,000	△ 436,000	0	2,471,000	2,180,135	290,865
給料手当支出	3,892,000	50,000	0	3,942,000	3,908,713	33,287
福利厚生費支出	994,000	50,000	0	1,044,000	988,299	55,701
会議費支出	20,000	0	0	20,000	11,202	8,798
通信運搬費支出	23,000	0	0	23,000	10,600	12,400
消耗品費支出	55,000	0	0	55,000	51,260	3,740
光熱水費支出	1,439,000	336,000	0	1,775,000	1,740,700	34,300
使用料及び賃借料支出	588,000	0	0	588,000	587,400	600
保険料支出	121,000	0	0	121,000	91,590	29,410
諸謝金支出	515,000	0	0	515,000	514,360	640
租税公課支出	332,000	0	0	332,000	277,714	54,286
雑支出	13,000	0	0	13,000	2,750	10,250
事業活動支出計(B)	10,899,000	0	0	10,899,000	10,364,723	534,277
事業活動収支差額(A)-(B) (C)	153,000	0	0	153,000	146,141	6,859

(単位:円)

大 科 目	当初予算額	補 正 額	流(充)用額	予算現額 (a)	決 算 額 (b)	差 異 (a) - (b)	
							中 科 目
							小 科 目
II 投資活動収支の部							
1 投資活動収入							
投資活動収入計(D)	0	0	0	0	0	0	
2 投資活動支出							
① 特定資産取得支出	153,000	0	0	153,000	146,141	6,859	
1 退職給付引当 資産取得支出	153,000	0	0	153,000	146,141	6,859	
投資活動支出計(E)	153,000	0	0	153,000	146,141	6,859	
投資活動収支差額(D) - (E) (F)	△ 153,000	0	0	△ 153,000	△ 146,141	△ 6,859	
当期収支差額(C) + (F) 【A】	0	0	0	0	0	0	
前期繰越収支差額 【B】	0	0	0	0	0	0	
次期繰越収支差額 【A】 + 【B】	0	0	0	0	0	0	

備 考

VI 収支計算書に対する注記

○ 総括

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、預り金、仮受金を含めることにしている。なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	44,427,351	43,901,343
未収金	1,737,987	2,508,666
合計	46,165,338	46,410,009
未払金	44,927,637	45,130,751
前受金	8,102	153,177
預り金	1,043,027	1,022,071
合計	45,978,766	46,305,999
次期繰越収支差額	186,572	104,010

令和4年度監査報告書

公益財団法人千歳青少年教育財団

理事長 入口博美 殿

令和5年5月10日

公益財団法人千歳青少年教育財団

監事

諸橋真 

公益財団法人千歳青少年教育財団

監事

小泉義隆 

監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決算書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

参 考 资 料

(参考資料)

令和4年度 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益財団法人 千歳青少年教育財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	令和3年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通	小計					
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 基本財産運用益	0	0	200	200	0	0	200	200	0
基本財産受取利息	0	0	200	200	0	0	200	200	0
② 特定資産運用益	55	7,043	0	7,098	21	0	7,119	6,878	241
特定資産受取利息	55	7,043	0	7,098	21	0	7,119	6,878	241
③ 事業収益	321,920	126,561,583	0	126,883,503	0	0	126,883,503	68,902,947	57,980,556
教育事業収入	321,920	0	0	321,920	0	0	321,920	152,700	169,220
水族館管理運営事業収入	0	124,929,183	0	124,929,183	0	0	124,929,183	67,077,996	57,851,187
体験料収入	0	1,632,400	0	1,632,400	0	0	1,632,400	1,672,251	△ 39,851
④ 受取会費	0	12,054,000	0	12,054,000	0	0	12,054,000	8,209,500	3,844,500
個人会員会費	0	10,854,000	0	10,854,000	0	0	10,854,000	7,189,500	3,664,500
法人会員会費	0	1,200,000	0	1,200,000	0	0	1,200,000	1,020,000	180,000
⑤ 受取補助金等	20,882,599	86,123,790	0	107,006,389	10,510,843	0	117,517,232	137,054,425	△ 19,537,193
教育事業補助金収入	20,504,298	0	0	20,504,298	0	0	20,504,298	18,303,818	2,200,480
水族館運営事業補助金収入	0	70,551,000	0	70,551,000	0	0	70,551,000	81,368,105	△ 10,817,105
管理費補助金	0	0	0	0	10,364,702	0	10,364,702	9,459,045	905,657
地方公共団体補助金(退職給付分)	378,301	1,668,489	0	2,046,790	146,141	0	2,192,931	2,078,185	114,746
受取補助金等振替額	0	13,904,301	0	13,904,301	0	0	13,904,301	25,845,272	△ 11,940,971
⑥ 雑収益	0	3,238,287	0	3,238,287	0	0	3,238,287	224,964	3,013,323
運用財産利息収入	0	505	0	505	0	0	505	325	180
雑収益	0	3,237,782	0	3,237,782	0	0	3,237,782	224,639	3,013,143
⑦ 受取寄付金	0	255,000	0	255,000	0	0	255,000	3,164,313	△ 2,909,313
受取寄付金	0	255,000	0	255,000	0	0	255,000	3,164,313	△ 2,909,313
経常収益計	21,204,574	228,239,703	200	249,444,477	10,510,864	0	259,955,341	217,563,227	42,392,114
(2) 経常費用									
① 事業費	21,373,884	228,363,730	0	249,737,614	0	0	249,737,614	216,213,356	33,524,258
役員報酬	317,889	953,667	0	1,271,556	0	0	1,271,556	1,267,111	4,445
給料手当	13,175,223	55,129,284	0	68,304,507	0	0	68,304,507	65,153,012	3,151,495
賞金	0	1,137,860	0	1,137,860	0	0	1,137,860	1,070,515	67,345
賞与引当繰入額	878,033	3,537,449	0	4,415,482	0	0	4,415,482	4,143,585	271,897
退職給付費用	378,301	1,668,489	0	2,046,790	0	0	2,046,790	1,879,443	167,347
福利厚生費	2,411,965	9,680,064	0	12,092,029	0	0	12,092,029	11,466,342	625,687
報償費	1,177,137	0	0	1,177,137	0	0	1,177,137	703,300	473,837
会議費	0	17,000	0	17,000	0	0	17,000	23,500	△ 6,500
旅費交通費	46,340	2,579,893	0	2,626,233	0	0	2,626,233	963,600	1,662,633
通信運搬費	79,922	860,206	0	940,128	0	0	940,128	871,860	68,268
減価償却費	138,712	31,154,551	0	31,293,263	0	0	31,293,263	31,193,378	99,885
備品費	0	2,514,299	0	2,514,299	0	0	2,514,299	796,412	1,717,887
消耗品費	433,366	6,768,912	0	7,202,278	0	0	7,202,278	5,858,064	1,344,214
修繕費	0	31,701,550	0	31,701,550	0	0	31,701,550	23,632,180	8,069,370
印刷製本費	34,100	326,524	0	360,624	0	0	360,624	458,502	△ 97,878
光熱水費	15,114	30,271,948	0	30,287,062	0	0	30,287,062	24,041,703	6,245,359
使用料及び賃借料	480,820	2,102,781	0	2,583,601	0	0	2,583,601	1,901,367	682,234
車両経費	1,103,784	2,414,142	0	3,517,926	0	0	3,517,926	2,987,233	530,693

科 目	公益目的事業会計				法人会計 (管理費)	内部取引 消 去	合 計 (A)	令和3年度 決 算(B)	増 減 (A-B)
	教育事業 (公1)	水族館事業 (公2)	共通	小計					
保険料	52,457	1,622,520	0	1,674,977	0	0	1,674,977	1,599,410	75,567
手数料	0	2,198,197	0	2,198,197	0	0	2,198,197	1,100,752	1,097,445
諸謝金	0	231,813	0	231,813	0	0	231,813	233,676	△ 1,863
交際費	0	117,850	0	117,850	0	0	117,850	14,000	103,850
食糧費	259,721	48,988	0	308,709	0	0	308,709	84,407	224,302
広告宣伝費	0	13,377,817	0	13,377,817	0	0	13,377,817	10,806,014	2,571,803
イベント費	0	2,776,883	0	2,776,883	0	0	2,776,883	4,643,192	△ 1,866,309
委託料	0	15,099,284	0	15,099,284	0	0	15,099,284	13,813,989	1,285,295
原材料費	0	203,903	0	203,903	0	0	203,903	183,075	20,828
租税公課	0	8,519,346	0	8,519,346	0	0	8,519,346	2,322,200	6,197,146
負担金	381,100	1,001,000	0	1,382,100	0	0	1,382,100	1,379,060	3,040
外注費	0	0	0	0	0	0	0	1,320,000	△ 1,320,000
雑費	9,900	347,510	0	357,410	0	0	357,410	302,474	54,936
②管理費					11,074,675	0	11,074,675	10,178,957	895,718
役員報酬					2,013,410	0	2,013,410	1,825,730	187,680
給料手当					3,627,536	0	3,627,536	3,531,517	96,019
賞与引当繰入額					502,020	0	502,020	447,902	54,118
退職給付費用					146,141	0	146,141	198,742	△ 52,601
福利厚生費					988,299	0	988,299	1,014,079	△ 25,780
会議費					11,202	0	11,202	7,601	3,601
通信運搬費					10,600	0	10,600	17,000	△ 6,400
減価償却費					509,693	0	509,693	533,382	△ 23,689
消耗品費					51,260	0	51,260	21,424	29,836
光熱水費					1,740,700	0	1,740,700	1,370,619	370,081
使用料及び賃借料					587,400	0	587,400	587,400	0
保険料					91,590	0	91,590	89,451	2,139
諸謝金					514,360	0	514,360	514,360	0
租税公課					277,714	0	277,714	17,000	260,714
雑費					2,750	0	2,750	2,750	0
経常費用計	21,373,884	228,363,730	0	249,737,614	11,074,675	0	260,812,289	226,392,313	34,419,976
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 169,310	△ 124,027	200	△ 293,137	△ 563,811	0	△ 856,948	△ 8,829,086	7,972,138
当期経常増減額	△ 169,310	△ 124,027	200	△ 293,137	△ 563,811	0	△ 856,948	△ 8,829,086	7,972,138
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
受取補助金振替額		0		0			0	1	△ 1
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	1	△ 1
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	11,061	△ 11,061
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	11,061	△ 11,061
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	△ 11,060	11,060
他会計振替額									0
当期一般正味財産増減額	△ 169,310	△ 124,027	200	△ 293,137	△ 563,811	0	△ 856,948	△ 8,840,146	7,983,198
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	-	0	245,292,996	254,133,142	△ 8,840,146
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	-	0	244,436,048	245,292,996	△ 856,948
II 指定正味財産増減の部									
受取補助金等									
受取地方公共団体補助金	0	37,000,000	0	37,000,000	0	0	37,000,000	32,000,000	5,000,000
一般正味財産への振替額	0	13,904,301	0	13,904,301	0	0	13,904,301	25,845,273	△ 11,940,972
当期指定正味財産増減額	0	23,095,699	0	23,095,699	0	0	23,095,699	6,154,727	16,940,972
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	-	0	238,326,766	232,172,039	6,154,727
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	-	0	261,422,465	238,326,766	23,095,699
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	-	0	505,858,513	483,619,762	22,238,751